

黒小だより



令和7年 8月29日

第5号

【今年度の重点目標】 ～豊かに表現し、学びを深める子の育成～

○学ぶ楽しさと成長を実感できる学校 ○元気な挨拶と思いやりにあふれる学校 ○保護者・地域の信頼で結ばれる学校



かき氷の美味しい夏

校長 半田 健一



本当に暑い夏でした。50年前、小学生の私が過ごした夏休みとは明らかに違う暑さです。

当時、私の実家では夏休み限定ルールがありました。24度を超えたら「ポッキンアイス（左上のイラスト）」を兄弟で半分にして食べる、27度を超えたら「かき氷」を作って食べるというものでしたが、私の記憶では、当時かき氷にありつけた日は期間中せいぜい6～7日。なかなか上がらない日には母親の目を盗んで、寒暖計を日光にあてるなどしましたが、かき氷どころか、ポッキンアイスにも届かない日が数日ありました。気象データによると、今年は夏休み期間30日のうち、25日はかき氷を食べられたことになります。ポッキンアイスにいたっては、毎日食べることができ、朝の4時から食べられる日もありました。テレビで毎日酷暑や豪雨のニュースを目にしましたが、まだ厳しい残暑が続くという予測も出ています。熱中症等による事故を防ぐため、ご家庭での健康観察や体調管理にも引き続きご協力をお願いいたします。



（がらりと話題を変えて）8月15日の北海道新聞別刷（4面構成）の第1面です。この新聞は、先の戦争の終結が伝えられた80年前（1945年）の8月15日を現代の視点や記事スタイルで紙面化したもので、多くの証言や歴史研究の成果を踏まえ、わかりやすく紹介しようとしたものです。

新聞を開いて驚き、釘付けになって読みました。知らなかったこと、自分の認識と違っていることがあり、真実を知りたい思いから、改めて様々な資料を集めて読みました。近年、当時の新たな資料や証言が発見・開示され、歴史研究は、この戦争の「なぜ？」に確実に近づいているように思います。

調べて感じたことの一つは、国民が正しい情報を知り、少数意見が大切にされる空気があったならば、誤った道を進むことはなかっただろうということです。大多数の国民は嘘の情報によって幸福に生きる権利を奪われました。現在の社会はどうでしょう？ネット上に真実ではない多くの情報があふれ、閲覧履歴等の情報を元に自分と似た思考や意見の情報に誘導され、反対意見は叩かれる…。怖いなと思います。

もう一つは、「武器を持つことによって保たれる平和とは一体何か？」ということです。「抑止力」という考え方がありますが、現在も世界で起きている紛争のことを考えると平和をもたらすものではないなと思います。人間は100%合理的な生き物ではありません。理性が低下していれば、誤った判断をしてしまうことも、それを止めずに傍観してしまうこともあるのです。

子ども達が地球環境に関心を持つこと、情報の正しい扱いを知ること、相手の考えをよく聞いて対話すること、道徳的な理性を身につけること、どれも未来のために大切なことです。学校だけではできません。今後も保護者や地域のみなさんのご協力をお願いいたします。大先輩の毛利衛さんも、特別授業で余市、北海道や地球の未来について子ども達に語りかけてくださいました。

80年前、子ども達はアイスもかき氷も口にすることはできない夏を過ごしていたことでしょう。始業式を前に、PTA役員の方々が中心となって盆踊り会を開催してくださいました。楽しく過ごし、平和であることの大切さを感じるひとときでした。本当にありがとうございました。